

会議等議事要旨記録票

| | | | |
|-------------------------------------|---|-------|---------|
| 日 時 | 令和2年10月27日（火曜日）午後1時00分から午後2時00分まで | | |
| 場 所 | 28C会議室（Web会議） | | |
| 会議等名 | 疫学・公衆衛生チーム会議 | | |
| 議 題 | 東京 iCDC 専門家ボード提言についての基本的な考え方等について | | |
| 参 加 者 | 賀来座長、チームメンバー、外部アドバイザー、吉田眞規子先生（東北大学）、福祉保健局関係部長・課長等 | | |
| 配付資料 | 別紙のとおり | | |
| 結 果 <small>※当てはまる項目にチェック</small> | <input type="checkbox"/> ①事案について了承（意見なし） <input checked="" type="checkbox"/> ②事案について了承（意見あり） <input type="checkbox"/> ③事案について要修正 <input type="checkbox"/> ④事案について不承諾 <input type="checkbox"/> ⑤別紙にて情報共有（説明のみ） | | |
| 主な内容 | <p>●東京 iCDC 専門家ボード 提言についての基本的な考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染者が下げ止まる中で、病床の稼働割合、接触が効率的に制御出来ているかなど、現状を認識し、感染者数の発表にととまらず、現状認識を改善できる方向に導きたい。 ・iCDC の専門家ボードの解析は、都に特化。東京都の分析は、今後の日本の感染対策に重要。患者数を下げるために、どこに介入するのか、人の活動が盛んになった際、状況が悪くなっていく予兆をどこでつかみ、どのような介入をすればさらに広域の蔓延を防ぐことができるのか等の分析が重要。 <p>●人流データを活用した地域感染拡大リスク指標の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レジャーや飲食による人流、滞留を切り出せる工夫をし、モニタリングに取り組みたい。季節ごとの変動は、昨年度の通年データを分析し、検証していく。 <p>●TEIT（東京都実地疫学調査チーム）の活動状況と感染対策のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TEIT と FETP とで密接に連携して活動を行っていききたい。 | | |
| 作 成 者 | 計画課 田所 | 確 認 者 | 担当課長 田中 |